

インドネシアにおけるコールドチェーン物流 ワークショップ

主 催：国土交通省、インドネシア運輸省
日 時：2023年2月9日（木）15:00～18:25（日本時間）
開催形式：オンライン
言 語：日本語/インドネシア語（同時通訳）
参 加 料：無料

ASEANをはじめとした新興国では、近年の所得向上に伴う食生活の多様化により、コールドチェーン物流の需要が高まる一方、温度管理が不十分であることによる健康被害や輸送途中での食品廃棄などが課題となっており、現地における低温物流サービスの品質向上が期待されています。

こうした背景から、日本は、BtoC分野において、2020年5月に発行されたコールドチェーン物流サービス規格（ISO23412）の策定を主導するとともに、BtoB分野では、2020年6月に、ASEANと共同で策定した「コールドチェーン物流ガイドライン」をベースとしたコールドチェーン物流サービス規格（JSA-S1004）を発行しており、これらの規格のASEAN地域における普及を官民連携で進めています。

本ワークショップは、こうした取組の一環として、国土交通省とインドネシア運輸省との共催により、現地の荷主・物流事業者・認証機関に対し、コールドチェーンの重要性等について理解を醸成するため、学識者による基調講演のほか、両国政府や現地の民間事業者、認証機関の取組を紹介します。

プログラム：裏面をご参照ください。

申 込 方 法：以下のURLもしくはQRコードからお申し込みください。

申込期限：2023年2月7日（火） <https://forms.office.com/r/vtj3rAg7Vh>



※申し込み状況によっては期限前に締め切らせていただく場合もございますので、
予めご了承の上、お早めにお申し込みください。

※お申し込み頂いた方には、別途視聴用URLが配信されます。

【ワークショップに関するお問い合わせ先】

インドネシアにおけるコールドチェーン物流ワークショップ 事務局

E-mail： logistics2023@omc.co.jp

プログラム（案）

開催者	国土交通省、インドネシア運輸省
日時	2023年2月9日（木） 15:00- 18:25（日本時間）
形式	オンライン
言語	日本語/インドネシア語（同時通訳）
15:00-15:05	プログラム 1: 開会挨拶 大坪 弘敏 国土交通省 大臣官房参事官（国際物流）
15:05-15:20	プログラム 2: 基調講演 森 隆行 学校法人中内学園 流通科学大学 名誉教授
15:20-16:20	プログラム 3: コールドチェーンの重要性について 1) 村井 香菜 国土交通省 総合政策局参事官（国際物流）室 物流渉外官 2) Mr. Suharto, インドネシア運輸省 Director of Road and Multimodal Transport 3) インドネシア海洋水産省 4) Mr. Hasanuddin Yasni, インドネシアコールドチェーン協会 Chairman
16:20-16:35	質疑応答（プログラム 2,3）
16:35-16:50	休憩
16:50-17:05	プログラム 4: コールドチェーン物流サービス規格の重要性について 福原 智幸 一般財団法人日本海事協会 調査開発センター兼交通物流部 グループリーダー 上席コンサルタント
17:05-18:05	プログラム 5: 民間事業者からみたコールドチェーンの重要性について 5.1. 物流事業者からみたコールドチェーンの重要性について 1) 小山 真二 President Director, PT. Kawanishi Warehouse Indonesia 2) Mr. Michael Hadipranoto President Director, PT. MGM Bosco Logistics 5.2. コールドチェーン分野をリードする物流事業者によるプレゼンテーション 1) 陶 ヘレン ヤマト運輸株式会社 社長室 戦略渉外 アシスタントマネージャー 2) 山田 徳彦 Executive Officer, TASCO Berhad
18:05-18:20	質疑応答（プログラム 4,5）
18:20-18:25	プログラム 6: 閉会挨拶 Capt. Novyanto Widadi, インドネシア運輸省 Head of Center for Transportation Infrastructure and Intermodal Integration Policy